前頁に紹介しておりますとおり、フォーインは創業以来、主に北米・欧州・アジアなど自動車産業にかかわる特別調査報告書を「地域的」単位で発行してまいりました。しかし、21世紀にはいって世界自動車産業界の動きは年を追う毎にグローバルな変化が激しくなり、その競争・競合と協力関係はますます多面的かつ多角的になり、世界を舞台に展開されるようになってまいりました。

そこでフォーインでは、2008年度より従来の地域別調査スタイルに加え世界的視点からの調査/研究/報告書の充実を進めております。

世界自動車メーカー年鑑 2014

成長の源泉となる製品・技術・
モジュールプラットフォーム・パワートレイン戦略

- 製品技術、モジュール・プラットフォーム、パワートレイン戦略を巻頭特集にて分析!!
- 世界47社の経営概況・データを多面的に整理、主要メーカーの比較分析も特集!!
- 業績・財務データ、沿革、製造開発拠点、製品計画、販売実績等コンパクトに収録!!
- 経営戦略、中期経営計画、新興国展開、部品調達、提携戦略等の戦略を分析!!

主要国での競争を見ると、燃費技術を競争力にマーケティング展開したFord、VW、現代などが欧米市場でシェアを上げており、パワートレイン技術競争での優位確立が重要となってきました。グローバル競争が激化する今後、重要となるのは、多様化するニーズに的確に応えられる、製品・技術・パワートレイン戦略や、それを支えるモジュール開発となります。当調査報告では、世界自動車メーカー47社のファクトブックとして各社の諸データを充実させ、最新動向をフォローアップするとともに、巻頭にて成長力の源泉となる製品・技術、モジュール、パワートレイン戦略を比較分析し、報告いたします。

目次紹介

第１章　世界自動車メーカーの競争ポジション
・特集：グローバル競争時代に求められる製品・技術戦略
・世界自動車メーカーの業績・経営戦略比較
・世界自動車メーカーの生産・販売ランキング

第２章　米国自動車メーカー
GM　Ford　Chrysler
Navistar　PACCAR

第３章　欧州自動車メーカー
VW　Audi　Daimler
BMW　Opel　Porsche
MAN　Renault　PSA
Fiat　Iveco　SEAT
AB Volvo　Scania
Skoda　AvtoVAZ

第４章　日本自動車メーカー
トヨタ　日産　ホンダ
スズキ　マツダ　三菱自
ダイハツ　富士重　いすゞ
三菱ふそう　日野　UDトラックス

第５章　アジア自動車メーカー
現代自　起亜　上汽集団
中国一汽　東風汽車　中国長安
北汽集団　長城汽車　奇瑞汽車
BYD　吉利汽車　Tata Motors
Mahindra & Mahindra　Proton

□は2014年版から新たに加わったメーカー

■発行：2013年12月26日　■体裁：A4判、358頁
■価格：140,000円+税　国内送料込

世界自動車統計年刊 2013

世界市場の 8,000 万台への成長とともに
新興国比重が増す自動車生産

- 世界83ヵ国販売と世界49ヵ国生産について実績データを車種別、ブランド別に整理!
- 成長続く新興国各国における、各社の自動車生産、販売の2012年競争結果を解析!
- 保有率と人口予測から2013/2014/2019/2024年の保有と販売を国別に予測!
- 世界主要メーカーの各国での自動車生産能力中期計画を分析（2012/2017年）!

世界の自動車市場は拡大基調が続いており、2012年には8,100万台を超えました。成長率は鈍化しているものの、年率5%の伸びで堅調な成長です。

当調査報告は、新たにベラルーシを加えた83ヵ国を対象に、生産・販売統計を整理いたしました。さらに自動車各社の生産能力計画に基づく中期生産見通しを加え、より内容を充実させております。また、車種別の世界生産販売実績では、従来小型自動車で統一して参りましたが、一部独自の計算を加えることで乗用車の分類を創設いたしました。

目次紹介

第１章 自動車産業・市場動向
特集 10年回顧と10年展望：アジアを中心とする新興国での生産事業拡大で1億台時代に準備
世界自動車販売：欧州は歴史的低迷ながら、米国、日本、新興国の需要増に8,100万台超え
世界自動車生産：2012年に8,500万台超え、北米の回復も、西欧は大底へ、アジアが成長けん引
第２章 自動車グループ・メーカー別生産販売動向
第３章 北米：●米国　●カナダ　●メキシコ　○プエルトリコ
第４章 南米：◎ブラジル　◎アルゼンチン　◎ベネズエラ　◎コロンビア　◎エクアドル　◎チリ　◎ペルー　◎ウルグアイ　◎ボリビア　◎パラグアイ
第５章 西欧：●ドイツ　●英国　●イタリア　●フランス　●スペイン　◎ベルギー　◎オランダ　◎オーストリア　◎スウェーデン　◎ギリシャ　◎ポルトガル　◎アイルランド　◎デンマーク　◎フィンランド　◎ルクセンブルク　◎スイス　◎ノルウェー　◎アイスランド
第６章 中・東欧：◎ポーランド　◎ハンガリー　◎チェコ　◎スロバキア　◎ルーマニア　◎スロベニア　◎ブルガリア　◎キプロス　◎ラトビア　◎エストニア　◎リトアニア　◎クロアチア　◎セルビア　◎ウクライナ　○ベラルーシ　●ロシア　◎トルコ
第７章 アジア：●日本　●中国　●台湾　●韓国　◎タイ　◎インドネシア　◎マレーシア　◎フィリピン　◎シンガポール　◎ベトナム　○ブルネイ　◎インド　◎パキスタン　◎スリランカ　◎ウズベキスタン　○カザフスタン　○アゼルバイジャン
第８章 大洋州：◎オーストラリア　○ニュージーランド
第９章 アフリカ：◎南アフリカ　◎エジプト　◎モロッコ　○アルジェリア　○チュニジア　○ケニア
第10章 中近東：●イラン　○サウジアラビア　○アラブ首長国連邦　○クウェート　○イスラエル　○オマーン　○カタール　○バーレーン　○イエメン

○：車種別ブランド別自動車販売台数　◎：○+車種別ブランド別自動車生産台数
●：○+◎+モデル別自動車生産・販売台数　□2012年版から新たに加わった国

■発行：2013年8月29日　■体裁：A4判、381頁
■価格：120,000円+税　国内送料込

世界商用車産業の2020年展望

―急成長の新興国メーカーを加えて進む
世界競争のパラダイムシフト―

- 新興国比率が8割超の中・大型商用車市場と6割超の小型商用車市場を分析!
- 新興国対応で世界再編進む業界関係を整理!
- 台数で世界トップに立った新興国メーカーと、売上トップ維持目指す先進メーカーを対比分析!
- 熟枯戦略見直し多様化進む先進国商用車メーカーの新興国戦略を分析!

2010年、世界の商用車販売に占める新興国比率は中・大型車が8割、小型車が6割を超えた。これを背景に、中・大型分野では、東風集団、中国一汽、重汽集団が世界生産トップ3となり、小型分野でも福田汽車と東風集団が躍進しました。だが、売上金額は欧州トップ企業の2割前後にとどまるため、新興国メーカーは製品・技術力を強化してブランド力向上に努力。先進国メーカーは競争地位の防衛に向けて新興国展開を強化。世界の商用車産業で進展する業界再編を含めてレポートします。

目次紹介

第1章　世界商用車産業の競争のパラダイムシフト …… 1
1. 特集 世界の中・大型商用車市場の決定的新興国シフト …… 2
2. 世界商用車メーカーランキング …… 14
3. 世界商用車メーカー業績 …… 18
4. 世界商用車メーカーの経営動向 …… 20
5. 世界商用車生産 …… 24
6. 世界商用車販売 …… 28
第2章　世界商用車市場の現状と将来展望 …… 33
1. 北米の現状と将来展望 …… 34
2. ブラジルの現状と将来展望 …… 42
3. 西欧の現状と将来展望 …… 44
4. 中欧8ヵ国の現状と将来展望 …… 48
5. 東欧3国の現状と将来展望 …… 52
6. 日本の現状と将来展望 …… 54
7. 中国の現状と将来展望 …… 56
8. 韓国・台湾・ASEANの現状と将来展望 …… 60
9. インドの現状と将来展望 …… 64
10. オーストラリアの現状と将来展望 …… 66
11. アフリカ・中近東の現状と将来展望 …… 68
第3章　欧州商用車メーカー …… 73
1. Daimler　3. MAN　5. Iveco
2. AB Volvo　4. Scania　6. 欧州メーカーの小型商用車事業
第4章　日本商用車メーカー …… 107
1. いすゞ　4. UDトラックス
2. 日野　5. 日本メーカーの小型商用車事業
3. 三菱ふそう
第5章　米国商用車メーカー …… 131
1. Navistar International　3. 米国メーカーの小型商用車事業
2. PACCAR
第6章 中国商用車メーカー …… 147
1. 東風集団　5. 上汽集団　8. 北奔重汽
2. 中国一汽　6. 陝汽集団　9. 宇通客車
3. 中国重汽集団　7. 江淮汽車　10. 金龍汽車
4. 福田汽車
第7章　その他新興商用車メーカー …… 183
1. Tata Motors　3. Ashok Leyland
2. Mahindra & Mahindra　4. 韓国メーカーの商用車事業
付録　世界商用車メーカーの主要生産・事業拠点一覧 …… 197

■発行：2011年10月7日　■体裁：A4判、203頁
■価格：160,000円+税　国内送料込

世界自動車部品産業年鑑 2013

拡大する世界市場で軽量化・低燃費技術を競うグローバルサプライヤー

- 日米欧亜主要自動車部品メーカー100社の中長期戦略/重点投資先/協業/強み/リスク等を独自分析!
- 先進国/新興国自動車生産比率逆転後の部品産業界の競争環境を主要国別にレポート!
- 世界自動車部品メーカー各社の軽量化・低燃費・安全技術関連の最新動向を概観!
- 日米欧亜主要350社の製品マトリクスをCD収録（600項目以上）!

世界自動車市場は向こう数年、力強い拡大が予想される中、先進国サプライヤーは軽量化、低燃費を受注獲得焦点として技術を競っています。またアジアでは年商10億ドル超の現地資本サプライヤーが増加し、自動車メーカーにとって低コスト部品調達につながる一方、先進国サプライヤーにとっては価格競争が厳しくなっています。本書は構造変化する部品産業界の最新動向や、独自視点での主要部品各社の経営分析を行っています。

掲載内容紹介

第1章　世界自動車部品産業の構造変化 …… 1
1. 先進国と新興国の生産比率逆転で世界自動車産業は構造変化、コストと先進技術の双方で競争力が問われる …… 2
◇地域別・主要国別自動車生産状況：米国、ドイツ、中国等で輸出拡大の動き、ロシアでは外資が増産投資 …… 4
◇環境技術・軽量化技術・安全技術を競う
グローバル部品メーカー …… 13
・電気自動車・電動関連製品の開発に主要各社が注力 …… 14
・軽量化技術：メリット多く創常的な技術テーマ …… 20
・安全技術：運転支援技術の普及進む …… 20
2. 部品売上高ランキング、米国メーカーが後退し電子・電動関連や韓国系躍進 …… 22
◇米欧日主要各社の2012年度地域別売上高構成比：欧州比率低下し北米比率上昇の傾向、日系メーカーの日本比率低下も目立つ …… 24
◇売上高が急拡大する新興国自動車部品メーカー …… 25
第2章　北米自動車部品メーカー20社の経営戦略 … 31
American Axle & Manufacturing/BorgWarner/
Cooper Standard Automotive/Dana/Delphi/Eaton/
Federal-Mogul/Honeywell/Johnson Controls/Lear/Linamar/
Magna International/Meritor/Nemak/Nexteer Automotive/
Tenneco/TI Automotive/Tower International/TRW/Visteon
第3章　欧州自動車部品メーカー27社の経営戦略 … 73
Autoliv/Behr/Benteler/Bosch/Brose/Continental/DrauxImager/
Eberspächer/Faurecia/Gestamp Automoción/Getrag/GKN/
Grupo Antolin/Hella/International Automotive Components
KSPG/Leoni/Magneti Marelli/MAHLE/MANN+HUMMEL
Plastic Omnium/Schaeffler/SKF/ThyssenKrupp/Valeo
Webasto/ZF
第4章　日本自動車部品メーカー39社の経営戦略 … 129
愛三工業/アイシン精機/曙ブレーキ工業/アルプス電気/
エクセディ/NOK/NTN/カルソニックカンセイ/ケーヒン/
KYB/小糸製作所/サンデン/ジェイテクト/ジヤトコ/
ショーワ/スタンレー電気/住友電気工業/タカタ/タチエス/
ティ・エス テック/デンソー/東海理化/豊田合成豊田自動織機/
トヨタ紡織/日信工業/ニッパツ/日本精工/日本特殊陶業/
パナソニックオートモーティブ&インダストリアルシステムズ/
日立オートモティブシステムズ/フタバ産業/ブリヂストン/
ミツバ/三菱電機/矢崎総業/八千代工業/ユタカ技研ユニプレス
第5章　アジア自動車部品メーカー14社の経営戦略 … 209
一汽解放汽車無錫塑油機廠/万向集団/広西玉柴機器集団
中国重汽集団済南動力/玲瓏集団/陝西法士特汽車伝動集団
潤柴控股集団/現代Mobis/現代WIA/興都
Apporo Tyres/Motherson-Sumi Systems/
MRF/Thai Summit Group
付属CD：北米・西欧・日本・アジア主要部品メーカーの製品マトリクス

■発行：2013年8月2日　■体裁：A4判、238頁
■価格：140,000円+税　国内送料込

世界自動車産業環境白書 2013 世界の環境政策と電動車戦略

HEV普及、PHEV/EV本格製品投入で始まるコスト競争

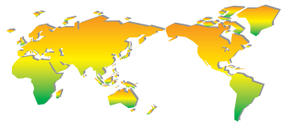
- 世界43ヵ国の環境政策を規制、補助金、投資奨励策等から鳥瞰!
- 世界自動車メーカー25社の電動車戦略と製品計画を深堀調査!
- 電動車部品メーカー128社の技術、製品、納入動向を網羅!
- 世界的なCO2排出規制強化が進む中、世界の電動車市場を展望!
- 電動車普及に問われる部品コスト削減努力を製品別に詳報!

2012年に世界で販売された電動車(ハイブリッド車と電気自動車)は174万台、世界シェアは2%になりました。しかし、プラグインハイブリッド車(PHEV)と電気自動車(EV)の販売は当初の期待を下回り、今後の本格的普及にはバッテリーやモーター、インバーター等電動車部品のコストダウンが問われています。世界各国の環境規制・政策を整理するとともに、自動車メーカー、部品・材料メーカーの動向を調査分析しました。

掲載内容紹介

第1章　世界の環境政策と電動車戦略 …… 1
特集1：世界の環境政策と電動車戦略 …… 2
◇世界自動車産業・市場と電動車の可能性 …… 4
◇世界市場の動向と環境規制の趨勢 …… 7
◇新興国シフトで広がる電動車の世界分業生産 …… 20
◇環境技術開発競争と商品企画競争 …… 22
・先進国自動車メーカーの環境対応とブランド戦略 …… 22
・新興国自動車メーカーに問われる電動車戦略 …… 24
◇電動化部品の技術・業界動向 …… 26
特集2：電動車部品の技術・業界動向 …… 29
◇駆動/発電モーター、インバーター、コンバーター、リチウムイオンバッテリー …… 43
◇電動車製販推移と将来展望 …… 34
◇戦略技術獲得に向けた合従連衡と世界分業 …… 52
第2章　世界主要国の環境政策 …… 55
◇先進国の環境規制と販売支援、投資誘致策 …… 56
米国、カナダ、EU、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オランダ、ベルギー、日本、韓国、オーストラリア等
◇新興国の環境規制と販売支援、投資誘致策 …… 107
メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、チュニ、中国、タイ、インドネシア、マレーシア、ベトナム、インド、南アフリカ等
第3章　世界主要自動車メーカーの電動車戦略 … 141
GM、Ford、VW/Audi、Daimler、BMW、Fiat/Chrysler、Renault、PSA、現代自/起亜、トヨタ、日産、ホンダ、三菱自、マツダ、スズキ、中国一汽、上汽集団、東風汽車、中国長安、吉利汽車、奇瑞汽車、BYD、Tata Motors、Mahindra & Mahindra、Proton
第4章　世界主要自動車部品メーカーの電動車戦略 … 209
◆欧州系：Bosch、Continental、ZF、Valeo、GKN、Siemens、BASF、Evonik、Infineon等
◆北米系：Magna、Delphi、Remy、Eaton、JCI等
◆日本系：デンソー、アイシンGr.、豊田自動織機、カルソニックカンセイ、ケーヒン、日立オートモティブシステムズ、三菱電機、東芝、パナソニック、明電舎、安川電機、TDK、村田製作所、ニチコン、NECグループ、富士電機、三井ハイテック、多摩川精機等
◆韓国系：現代Mobis、LSグループ、大星電気工業、Nuintek、Samsung SDI、LG化学
◆台湾系：デルタ電子、統振股份等
◆中国系：万向電動汽車、上海卡耐新能源、上海電駆動、深圳市比克電池、大洋電機、天津清源、天津力神、中国南車、佛山電器照明、嘉興斯達半導体、海特電子等

■発行：2013年6月7日　■体裁：A4判、316頁
■価格：160,000円+税　国内送料込



会社（代表）Tel：(052)789-1101　中国調査部 Tel：(052)789-1186
企画調査部 Tel：(052)789-1145　日本調査部 Tel：(052)789-1184
米州調査部 Tel：(052)789-1143　英文製品部 Tel：(052)789-1187
欧州調査部 Tel：(052)789-1136　FOURIN図書館 Tel：(052)789-1139
アジア調査部 Tel：(052)789-1179　調査部合同 Fax：(052)789-0996

世界自動車産業専門調査会社
FOURIN ニュース
2014年　4月号　No.28
発行日：2014年4月1日（1·4·7·10月の1日）
発　行：株式会社フォーイン営業部
〒464-0025 名古屋市千種区桜が丘292
TEL:052-789-1101(代)　FAX:052-789-1147
http://www.fourin.jp
購　読：ホームページに閲覧PDFあり（無料）
送　付：定期送付の希望はホームページから

FOURIN自動車技術調査月報 創刊

21世紀の自動車産業の競争焦点は技術開発に!

● 世界の環境・安全技術をウォッチング ●

2014年、世界の自動車産業は技術の革新性を競う時代を迎えています。頻発・深刻化する自然災害を減らすCO2排出抑制、高齢化が進展している先進国で問われる自動安全運転と歩行者保護、二輪車と自動車の普及期を迎えた新興国で問われる渋滞緩和と交通事故低減など世界の自動車産業が直面する課題は環境と安全技術が中心となっています。

こうした課題はCO2抑制とNOxの削減、小型・軽量化と車体安全性向上、EV/HEV化とコスト削減のように相反する課題が多く解決策は一様ではありません。しかし、急速に発展する素材技術や通信技術により、これまで不可能と思われてきた解決策も生まれつつあり、新しい技術やアイデアが自動車産業をさらに発展させる可能性が広がっています。

世界金融危機以来、コスト削減を優先してきた自動車産業は先進国主要市場の回復を迎え、改めて将来に向けた投資戦略、技術開発戦略を問われています。

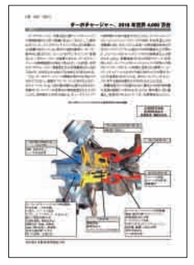
こうした現状を踏まえ、フォーインでは、世界の自動車技術トレンドを正確に把握し、技術情報の分野で皆様の業務発展の一助となるべく、2014年4月に『FOUIRN自動車技術調査月報』を創刊いたします。是非共、ご採用を賜ります様、お願い申し上げます。

2014年 4月創刊

発　行：毎月10日

体　裁：A4判、標準48ページ

購読料：1年間(12号分)
259,200円（税込）
半年間(6号分)
142,560円（税込）
（国内送料込）



2014年4～6月調査月報（予定特集テーマ）

世界月報
北米自動車生産 (4月)
ロシア自動車生産 (4月)
南アフリカ自動車産業 (5月)
西欧乗用車セグメント分析 (5月)
欧州自動車生産 (5月)
世界自動車販売 (6月)
世界自動車生産 (6月)

アジア月報
インド二輪車産業 (4月)
アジアセグメント別販売 (5月)
Tata Motors経営戦略 (6月)

中国月報
2014年中国乗用車販売計画 (4月)
中国高級車市場 (4月)
中国省エネ・新エネ商用車市場 (5月)
中国テレマティクス産業 (5月)
北京モーターショー (6月)
中国二輪車市場 (6月)

日本月報
日本メーカー世界国別生産 (4月)
日本メーカー別平均燃費基準 (5月)
2013年度決算総括 (6月)

Asia Automotive Intelligence
India Motorcycle Industry (Apr.)
Asia Segmented Sales (May)
Tata Motors Business Strategy (Jun.)

インドネシア自動車・部品産業 2014

200万台市場への対応急ぐ完成車/部品メーカー

- ◆急激に成長するインドネシア自動車市場の中長期的な成長可能性を検証!!
- ◆日米欧韓など自動車メーカー19社の事業体制、製品動向、事業戦略を報告!!
- ◆現地進出Tier1サプライヤー87社の事業体制、最新の事業動向を詳報!!
- ◆自動車メーカー、サプライヤーなど第一線の業界関係者のインタビューを掲載!!
- ◆主要工業団地情報、サプライヤーダイレクトリー（200ヵ所以上）を付属CDに収録!!

インドネシアの自動車市場は2013年に前年比10.2%増の123万台と前年と比較して伸び率は鈍化したものの、二桁増ペースを続けています。2013年9月に政策的に車両価格を抑えたLCGC政策対応車が投入され自動車購入可能な所得層の裾野が拡大されたこと、内需中心の底堅い経済成長を背景にした所得の拡大で中期的にも成長が続くことが予想され、2010年代後半には200万台市場への成長の可能性が高いと見られています。しかし一方で、Jakartaなど都市部での渋滞や、都市と地方の経済格差の是正など将来の自動車市場の成長への課題もあります。「インドネシア自動車・部品産業2014」では、現地の自動車メーカー関係者の取材などを元に、インドネシアの自動車市場の中長期的な成長性を検証したほか、現地で事業拡大を図っていくうえでの課題を分析しました。また日系・米系・欧州系・韓国系など主要自動車メーカーや、現地系も含めたインドネシアで事業を展開するサプライヤーの事業概要や最近の事業動向を詳細に報告。更に政治体制や経済状況、人口、自動車保有、自動車関連法制度、などの基本情報も収録しております。加えて現地調達拡大への足掛かりに、現地系や現地進出の二次・三次サプライヤーの連絡先や動向をまとめたリストを製作しました。

■発刊：2014年1月　■体裁：A4判、229頁+CD
■価格：140,000円+税　国内送料込

世界自動車統計年刊2014

【「世界自動車統計年刊2014」、国別レポートのPDF速報発表スケジュール】*

左=上旬、中=中旬、右=下旬
（PDFは印刷版が発刊される2014年8月までWeb上に掲載されます）

	国名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
欧州	英国							
	ドイツ							
	フランス							
	イタリア							
	スペイン							
	ベルギー							
	オランダ							
	ルクセンブルク							
	ポルトガル							
	ノルウェー							
	スウェーデン							
	フィンランド							
	デンマーク							
	ポーランド							
	ハンガリー							
	チェコ							
	スロバキア							
	ルーマニア							
	ブルガリア							
	ロシア							
	トルコ							
	ウクライナ							
	ベラルーシ							
	カザフスタン							
	アゼルバイジャン							
	ウズベキスタン							
	キプロス							
	クロアチア							
	リトアニア							
	エストニア							
	ラトビア							
	セルビア							
	ブルガリア							
	ルーマニア							
	ハンガリー							
	ポーランド							
	ロシア							
	ウクライナ							
	トルコ							
	ベラルーシ							
	カザフスタン							
	アゼルバイジャン							
	ウズベキスタン							
	キプロス							
	クロアチア							
	リトアニア							
	エストニア							
	ラトビア							
	セルビア							
北米	米国							
	カナダ							
	メキシコ							
南米	ブラジル							
	アルゼンチン							
	ベネズエラ							
	コロンビア							
	ペルー							
	チリ							
	ウルグアイ							
	パラグアイ							
	ボリビア							
	エクアドル							
アジア	中国							
	日本							
	韓国							
	台湾							
	インド							
	インドネシア							
	タイ							
	マレーシア							
	フィリピン							
	ベトナム							
	ブルネイ							
	シンガポール							
	パキスタン							
	スリランカ							
	バングラデシュ							
	ネパール							
	ミャンマー							
	カンボジア							
	ラオス							
	モンゴル							
	ブータン							
	モルディブ							
	アフガニスタン							
	ウズベキスタン							
	カザフスタン							
	アゼルバイジャン							
	キプロス							
	ロシア							
	トルコ							
	ベラルーシ							
	ウクライナ							
	ブルネイ							
	ラオス							
	カンボジア							
	ミャンマー

NORTH AMERICA

EUROPE

ASIA

世界自動車調査月報

- 欧州･北米中心に現地取材報告を交えて自動車･市場･部品産業動向を調査分析
- 欧米主要自動車･部品メーカーの経営戦略･事業展開を様々な視点から分析
- 世界の自動車業界を一望する特集を掲載、BRICs特集も充実
- 中近東、アフリカ、中南米、大洋州の自動車市場･産業動向も毎号掲載
- 巻末に月次世界国別生産(27ヵ国)･販売(46ヵ国)統計、世界メーカー別シェア動向を収録

世界自動車市場では新興国が占める比率が過半数を超えています。ただし新興国といっても、各国の市場ニーズは様々で、また各国の成長テンポも異なりリスクも潜在します。自動車･部品各社とも市場の特性や各国事情を見据えた上での新興国戦略が問われます。一方、成熟市場の欧米では燃費性能、安全運転支援システムやインフォテイメントが焦点となっており、各社にとってこうした分野での技術強化が必須となっています。

-毎月世界各国の月次生産･販売台数速報を掲載(生産27ヵ国、販売49ヵ国のデータを掲載し世界の９割以上をカバー、掲載国は随時追加予定)。

-主要自動車メーカー各社の市場シェアも毎月速報。

■発行：毎月5日 ■体裁：A4判･標準66頁 ■創刊:1987年5月
■購読料：年間240,000円+税 半年132,000円+税 国内送料込

アジア自動車調査月報

- アジアの発展を成長機会に変える
- 産業政策･制度変更を迅速に報告
- 現地系メーカーの成長戦略を分析
- 日米欧系各社のアジア戦略を分析
- 月次自動車生産･販売統計を掲載

高い成長性とコスト競争力を内包するアジア自動車産業。タイとインドネシアでは自動車販売がそれぞれ100万台を超え、マーケットとしての重要性が一層高まっています。世界有数の自動車大国となったインドでは、ディーゼル車販売が急拡大するなど、事業環境が目まぐるしく変化。また韓国やASEANなどは電動化推進に向けて始動しています。当月報ではアジアの市場動向、産業政策、メーカー各社の事業戦略を報告します。

■発行:毎月20日 ■体裁：A4判･標準53頁 ■創刊:2007年1月
■購読料：年間216,000円+税 半年120,000円+税 国内送料込

米国電気自動車開発競争

- 連邦政府と加州の燃費規制を詳報
- 電動化推進と市場成長性を展望
- 米国市場向けHEV、PHEV、EV等製品スペック概要を収録
- 自動車各社の次世代車戦略を分析

米国では、地球温暖化対策へ改めて燃費規制を強化するほか、政府が電気自動車普及方針を掲げており、米国市場を舞台に世界の主要自動車メーカーが電気自動車やプラグイン･ハイブリッド車の開発計画を強化しております。本調査資料は、米国の自動車環境規制と産業政策の最新動向をまとめるとともに、日米欧韓の自動車メーカーが米国市場向けに計画するハイブリッド車、プラグイン･ハイブリッド車、電気自動車などの環境車戦略動向を分析するものです。

■発行：2009年11月 ■体裁：A4判･212頁
■価格：120,000円+税、国内送料込

欧州自動車産業

- 低燃費を競う各社の戦略を分析
- 欧州各社の新興国戦略を分析
- 欧州9社の経営動向、日本各社、現代自の欧州事業動向を詳報
- 欧州市場の構造変化･主要動向

欧州の自動車各社は、成長戦略の軸足をグローバル事業に移して新興国事業強化を進め、新興国で存在感を強めています。一方、欧州では動力性能向上と燃費改善を両立する新技術開発に加え、EVやPHEVの開発計画も進行中です。日本メーカーは競争環境の変化に対応し、競争力強化を図る時機を迎えています。本書では、欧州の環境政策と自動車各社の燃費低減･電動化戦略を特集、グローバル事業展開の焦点について分析しています。

■発行：2011年4月 ■体裁：A4判･323頁+CD
■価格：120,000円+税、国内送料込

アジア自動車産業

- アジア自動車産業の発展戦略を分析
- アジア自動車生産の将来像を分析
- 主要メーカーの事業戦略･動向を報告
- 自動車市場規模と需要構造を解剖
- 主要各国のモデル別販売統計を収録

アジアでは、2015年に自動車市場が1,000万台に達することに加え、輸出拠点化が進むため、自動車生産が1,600万台に達すると予測されます。このなかで内需拡大や投資優遇策などを背景に増産投資を獲得する国がある一方、成長戦略が描けていない国もあり、成長見通しには格差が広がっています。また、廉価車投入で新たなコスト競争の時代に入っています。本書ではこれらの動向をまとめ、アジア自動車産業の将来の発展シナリオを分析しています。

■発行：2011年3月 ■体裁：A4判･360頁
■価格：140,000円+税、国内送料込

北米自動車部品産業

- 北米でのサプライヤーの最新戦略を詳報
- サプライヤーの南部移管動向を報告
- ダウンサイジング最新動向を特集
- 完成車各社の最新調達動向を詳報
- 3,000ヵ所以上収録のダイレクトリー

北米小型自動車生産が2012年に1,500万台レベルを回復。リストラで北米生産体制を縮小したサプライヤー各社にとって、欧州の低迷や新興国が成長鈍化に見舞われる中、北米事業の重要性が高まっています。更にメキシコへの生産移管、中国サプライヤーによる北米サプライヤーの買収など再編が激化しています。本書は今後予想される再編や競争激化に対応するサプライヤーの戦略や最新動向を詳報します。

■発行：2013年2月 ■体裁：A4判･278頁+CD
■価格：148,000円+税、国内送料込

欧州自動車部品産業

- 部品メーカーのBRICs事業を分析
- 環境安全製品の最新動向を報告
- M&Aによる業界再編動向を報告
- 欧州部品120社の事業概要を収録
- 欧州4,361社のダイレクトリー

欧州の自動車部品業界は、自動車産業へのCO_2削減要請を成長機会ととらえ、次世代の製品技術を競って提案しております。一方、中国、インド等のBRICsの事業を強化、新興国市場向けの超価格車への対応を積極的に推進しています。本書では、2010年代の成長に向けた二つの課題を特集、環境安全技術への提案を活発化する欧州部品産業の最新動向と、新たな挑戦を始動した新興国事業展開の分析に焦点を当てて報告します。

■発行：2008年3月 ■体裁：A4判･336頁+CD
■価格：120,000円+税、国内送料込

インド自動車・部品産業

- インド自動車産業の将来を展望
- 急速に変化する事業環境を報告
- 完成車20社以上の経営を分析
- 部品100社の事業動向を解説
- 部品800社ダイレクトリー付き

インド自動車産業はその成長力などを背景に大きな注目を浴びています。四輪車内需と生産がそれぞれ2020年に1,000万台、1,200万台に膨らむと予測されるなかで、事業環境は目まぐるしく変化しており、成長の果実を享受するために各社には現地化強化が問われています。

3年ぶりの改訂となる本書では、政策、市場、自動車･部品各社の事業展開を包括的に分析しています。

■発行：2012年12月 ■体裁：A4判･289頁+CD
■価格：160,000円+税、国内送料込

ブラジル メキシコ自動車・部品産業

- 現地取材から産業動向を報告
- ブラジル新政策とその影響を分析
- 自動車各社の調達･輸出戦略一覧
- 部品企業80社超の現地事業を報告
- 部品1,400社超のダイレクトリー

米州の新興国であるブラジルとメキシコは生産規模300万台超の世界有数の自動車大国に成長しました。ブラジルでは世界4位の国内市場向けに、メキシコは隣国の米国市場向けに、今後も生産が拡大することが期待されています。本書では現地取材をもとに、自動車各社･部品各社の現地事業戦略、及び2国の自動車産業･通商政策、現地自動車産業の今後の見通しを取りまとめました。

■発行：2013年11月 ■体裁：A4判･300頁+CD
■価格：148,000円+税、国内送料込

世界自動車環境白書2013 世界の環境政策と電動車戦略

- 世界の環境規制･政策を徹底収録
- 世界の電動車製品計画を詳細整理
- 電動車部品技術動向を整理分析
- 世界CO_2規制と電動車市場を展望
- 分野別部品コスト削減努力を詳報

世界的な燃費規制強化を背景にHEV市場は着実に拡大しつつありますが、PHEV/EV販売は当初の期待を下回っていることから、各社は本格的普及拡大に向けてバッテリー、モーター、インバーター等主要部品のコストダウンに取り組んでいます。

世界各国の環境政策を整理するとともに、自動車メーカー、部品･材料メーカーの電動車戦略を取りまとめました。

■発行：2013年6月 ■体裁：A4判･316頁
■価格：160,000円+税、国内送料込

インドネシア自動車・部品産業

- 自動車市場の成長性を検証･分析
- 完成車19社の体制･動向を概観
- 部品87社の事業動向を解説
- 政治や経済等の基本情報を収録
- 200ヵ所以上の部品ダイレクトリー

インドネシアの自動車市場は2013年に123万台に到達、伸びは鈍化したものの、二桁ペースで成長しています。政策的な後押しや底堅い経済発展で更なる成長が期待される一方、課題もあります。本書は現地でのヒアリングなどを元に自動車市場の将来性と課題を分析。加えて、完成車部品各社の最新の事業動向や政治･経済など事業計画に必要な情報を1冊にまとめました。

■発刊：2014年1月 ■体裁：A4判、229頁+CD
■価格：140,000円+税 国内送料込

OTHERS

CHINA

JAPAN

ロシア トルコ 中東欧自動車･部品産業 2013

- ロシア自動車･部品産業の現状と展望を報告
- トルコ自動車･部品産業の最新動向を掲載
- R&D拠点化進む中東欧諸国の自動車･部品産業

ロシアは欧州最大の自動車販売国への成長が確実視されており、現地では政府の国産車優遇策を活用する自動車各社が生産能力増強を進め、グローバルサプライヤーの新規投資も活発化しています。欧州市場向け供給拠点として発展するトルコと中東欧諸国では、自動車･部品各社のR&D拠点が増えており、新たな注目を集めています。

本書では、ロシアなどのCIS諸国及びトルコ、中東欧諸国の自動車産業の現況を報告します。

■発行：2013年6月 ■体裁：A4判･306頁
■価格：180,000円+税、国内送料込

中国自動車調査月報

- 中国自動車産業/市場/政策運営を速報
- 中･外資系メーカーの事業動向を分析
- 中国省エネ･新エネ車産業の現状を報告
- 産業政策、技術規格規制動向を分析
- 月次生産･販売･税関データを収録

中国は2009年から世界最大の自動車生産国となり、世界メーカーからの注目が一層高まっています。近年は外資系メーカーの現地開発も進み、中国は生産だけではなく開発拠点としても現地化が進んでいます。中国政府は省エネ･新エネ車の普及に力を入れており、メーカー各社は最先端の技術を中国に導入し、競争が激化する中国市場でシェア争いを繰り広げています。「FOURIN中国自動車調査月報」では、中･外資系メーカーの最新の動向や産業政策を取り上げ、中国自動車産業の現状を報告いたします。

■発行:毎月月末 ■体裁：A4判･標準65頁 ■創刊:1996年4月
■購読料：年間216,000円+税 半年120,000円+税 国内送料込

日本自動車調査月報

- 日本自動車各社の世界展開を網羅
- 部品各社の事業戦略をレポート
- 小型車/次世代環境車戦略を分析
- 国内の政策/規制や市場動向を分析
- 世界生産/販売の月次データを掲載

日本自動車産業は、電動化による次世代環境戦略と低価格車による新興国戦略を軸に成長戦略を推進しています。同時に昨今の円高進行が業界各社の収益を圧迫する中、世界最適生産･調達体制の早急な構築が問われています。

「FOURIN日本自動車調査月報」は、日本自動車産業の事業環境･成長戦略を多角的に分析。完成車･部品各社の経営戦略、製販体制、製品/技術動向、調達政策など、分析対象は多岐にわたります。

■発行:毎月15日 ■体裁：A4判･標準62頁 ■創刊:1999年4月
■購読料：年間216,000円+税 半年120,000円+税 国内送料込

世界自動車部品メーカー年鑑

- 日米欧亜主要100社の経営状況を独自分析
- 先進国/新興国の自動車生産比率逆転後の部品産業界の競争環境をレポート
- 軽量化/低燃費/安全技術の最新動向を一覧
- 日米欧亜350社の製品マトリクスをCD収録

新車市場1億台が近づく中、拡大需要取り込みを狙ったグローバルサプライヤーの競争焦点として、軽量化、低燃費の重要度が高まっております。またアジアでは年商10億ドル超の現地サプライヤーが多く誕生し、現地自動車市場の発展と輸出拡大を背景に今後も売上拡大が見込まれます。本書は軽量化/低燃費/安全技術動向とともに、主要Tier1サプライヤー100社の戦略動向を収録いたしました。

■発行：2013年8月 ■体裁：A4判･238頁
■価格：140,000円+税、国内送料込

中国自動車産業

- 省･新エネ車等の産業政策を収録
- 自主ブランド事業を詳報
- 中国メーカー25社の経営戦略を分析
- 外資系メーカー21社の中国戦略を網羅
- 中国メーカーの海外事業動向を整理

中国自動車産業は2011年の生産台数が前年比0.8%増の1,842万台と鈍化しました。日系は東日本大震災の影響により4.4%増と低迷しましたが、欧米韓は全て2桁の増加を維持し好調です。中国政府は市場成長鈍化の中で外資系メーカーに対して、中国パートナーとの合弁ブランド育成と、省･新エネ車を始めとした技術移管をより強く求めています。

当調査報告書は中国系25社、外資系21社の中国経営戦略を分析しました。

■発行：2012年2月 ■体裁：A4判･293頁+CD
■価格：120,000円+税、国内送料込

日本自動車部品メーカーの新興国戦略

- 日本メーカーの新興国戦略を分析
- 有望新興国の基礎データを収録
- 主要部品155社の事業動向を網羅
- 日本部品各社の海外4,239拠点ダイレクトリーをexcel形式でCD収録

日本自動車部品産業は、2011年度に新成長戦略を打ち出し、不況時にも需要が堅調な新興国への投資を加速。日本は先端技術開発の中核を、欧米は環境･安全規制等に対応した技術開発を、アジアは現地向け低価格製品の開発を担うといった役割明確化で、新興国と環境の2大テーマに取り組んでいます。

本書は、日本主要部品各社の新興国戦略にスポットを当てながら、経営戦略、収益動向、国内外での生産･開発動向、新技術などを網羅しています。

■発行：2011年11月 ■体裁：A4判･232頁+CD
■価格：95,000円+税、国内送料込

中国進出日系自動車・部品メーカー総覧

- 日系部品企業の製品別取引先一覧を掲載
- 地域別に日系部品企業1,274拠点を詳報
- 日系自動車メーカー90拠点の概要を収録
- 年･地域･製品別に日系企業進出を分析
- 日系企業の開発事業動向及び計画を報告

日系自動車メーカーは、日中関係悪化の影響を受け、中国乗用車生産が2012年に前年比10.6%減の252万台になりましたが、2015年に倍増の500万台をめざし、コスト競争力強化、中国戦略車の現地開発化、ハイブリッド車･同基幹部品の現地生産準備等を進めています。本書では、今後、中国事業を強化･拡大、または中国に新規進出する日系企業にとって不可欠な中国進出日系自動車･部品企業1,364拠点の基礎情報を掲載しています。

■発行：2013年6月 ■体裁：A4判･154頁+CD
■価格：96,000円+税、国内送料込

中国自動車部品産業

- 中国政府の部品産業育成政策を掲載
- 自動車メーカー19社の調達戦略分析
- 自動車部品23分野の主要動向を収録
- サプライヤー83社の事業戦略を分析
- 30社のサプライヤーリストをCD収録

2012年の中国自動車販売台数は前年比4.3%増の1,930万台超を記録しました。先進国市場の冷え込みから外資系サプライヤーは相次いで現地に生産拠点、R&Dセンター等を設立し、中国事業を本格化させています。一方、現地系サプライヤーは開発力の向上が依然として重要な課題となっており、中国政府は省エネ･新エネ車のコア部品を生産する重点企業の育成に力を入れています。当調査報告書では、内外83社の事業動向を詳報します。

■発行：2013年2月 ■体裁：A4判･342頁+CD
■価格：148,000円+税、国内送料込

中国自動車産業の開発･調達戦略

- 完成車と戦略部品の開発競争を分析
- 2010年代主要各社調達戦略を整理
- 業界の技術提携、買収動向を網羅
- 開発･調達動向からトレンドを把握
- 産業集積地への進出特徴を分析

2009年に1,300万台で中国最大生産･販売国に成長した中国自動車市場は垂涎の的であり最重要戦略市場として改めて認識されています。

本書は、数百社に及ぶ中国系および外資系自動車メーカー、部品サプライヤー、素材メーカー、設備メーカーの経営動向を取り上げ、部品取引関係、技術開発と提携、統合再編という3つの視点から2010年代に向けた中国自動車産業の競争環境を俯瞰した調査報告書です。

■発行：2010年4月 ■体裁：A4判･約261頁+CD
■価格：95,000円+税、国内送料込

中国新エネルギー車産業の実態 制度･政策+インフラ+資源編

- 中国のPHEV/EV産業育成戦略を解明
- 中国政府のEV覇権獲得戦略を分析
- 充電インフラの整備状況を収録
- 地方政府の新エネ車育成計画を整理
- 電気二輪車育成政策･市場動向を分析

中国政府は新エネルギー車(次世代EV/PHEV等)分野における世界的な覇権の獲得をめざした動きを活発化させています。中央政府と地方政府は、新エネルギー車の産業育成とともに普及を支える充電インフラ･産業インフラの整備を進める一方、レアメタル輸出制限など、政治的な動きも強めています。『制度･政策+インフラ+資源編』では、制度･政策を中心に中国の新エネルギー車産業をレポートします。

■発行：2010年10月 ■体裁：A4判･81頁
■価格：60,000円+税、国内送料込

中国新エネルギー車産業の実態 市場+メーカー+製品編

- 電動車モデルの開発動向を徹底調査
- 中国自動車企業の新エネ車戦略を分析
- 電動二輪車企業の事業戦略を整理
- 関連サプライヤーの事業動向を報告
- 新エネ車普及に向けた技術課題を解析

中国自動車企業は、新エネルギー車開発を強化していますが、日系メーカーが技術的に先行するHEVでの正面対決を回避し、中国政府から強力な支援を受けられるEV、PHEVに集中した開発を強化する一方、電動二輪車や簡易電動車など中国独自の製品市場育成を目指しています。『市場+メーカー+製品編』では、自動車メーカーの製品･技術戦略を中心に中国の新エネルギー車産業を報告します。

■発行：2010年12月 ■体裁：A4判･109頁
■価格：60,000円+税、国内送料込

中国 省エネ･新エネ車産業

- 省エネ･新エネ車の普及現状を解明
- 省エネ･新エネ車関連支援策を詳説
- 各社の省エネ･新エネ車戦略を分析
- モータ･電池等会社の情報を報告
- 電動二輪車･低速EVの事業概要を網羅

中国 省エネ･新エネ車事業は、中国政府の主導で展開されています。2012年に入り、EV、PHVの保有台数を2015年に50万台、2020年500万台に設定しました。目標達成に向けて政府は省エネ･新エネ車への支援強化が見込まれます。

当調査報告書は省エネ･新エネ車の支援政策、完成車･部品メーカーの省エネ･新エネ車戦略、電動二輪車･低速EVの事業概要を報告します。

■発行：2012年8月 ■体裁：A4判･223頁
■価格：160,000円+税、国内送料込